



平成30年6月5日

報道機関 各位

福井工業大学

学長 掛下 知行

在日フランス大使館原子力参事官 スニル・フェリックス氏の 特別授業について

平成30年度 原子力規制人材育成事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）

日頃より、本学の教育・研究に関しご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

本学は、平成28年度から5年間、原子力規制庁の支援により『コンプライアンス意識を持つ、GLOCALな原子力人材育成』事業を実施しております。

本事業の一環として、昨年引き続き、在日フランス大使館原子力参事官のスニル・フェリックス氏による特別授業を、下記のとおり開催いたします。本特別授業は、本学学生と教員が、本年11月に「もんじゅ」廃止措置にかかる様々な課題を学習するため、先行するフランスの規制当局「ASN」、廃止措置実施中の高速増殖実証炉「スーパーフェニックス」と高速増殖原型炉「フェニックス」の現地を訪問するために計画したものです。

つきましては、ご多忙とは存じますが、ぜひ取材していただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 日時及び場所 平成30年6月8日（金） 10：30～12：00
本学 FUTタワー7階 T-702号教室
(福井市学園3-6-1 福井工業大学福井キャンパス内)
2. 講師 在日フランス大使館 原子力参事官
スニル・フェリックス (Mr. Sunil FELIX) 氏
3. 講演内容 フランスにおける原子力施設の現状とその規制について
4. 受講者 本学工学部原子力技術応用工学科 学生 約30名
5. 事業責任者 本学工学部原子力技術応用工学科 教授 来馬 克美 (くるば かつみ)

※詳細は添付資料をご確認ください。

以上